

環境ソリューションの提供

お客様の経営戦略と環境負荷低減の両立をめざして、環境経営の実践と高度化を支えていくためのソリューションを提案しています。

■ 基本的な考え方

お客様の環境経営を支援する「環境ソリューション」

経済危機と環境問題が深刻化するなか、お客様が経営を維持・継続していくためには、経営戦略と環境負荷低減の両立をめざした環境経営を推進していく必要があります。

富士通では、お客様の環境経営を支援するための「環境ソリューション」を提供しています。お客様の環境活動を評価し、経営の視点から統合的に改善すべき課題を“見える化”。お客様のビジネス戦略に応じた形で環境課題を解決する方策を提案します。さらに、現状の評価や方策の立案だけでなく、実施、課題抽出、不備の改善に至るまで、PDCAサイクルを実行することで、お客様の環境経営の継続的な高度化を支援しています。

環境ソリューションの実施にあたっては、組織内の環境情報の収集・分析、化学物質管理、施設のインフラ管理、オフィスの消費電力管理など、富士通の豊富な実績やノウハウを結集した多数のラインナップのなかから、最適の製品・サービスを組み合わせ提供します。

富士通が提供するさまざまな省エネソリューション

経営層・総務・環境部門

エネルギー管理の実現

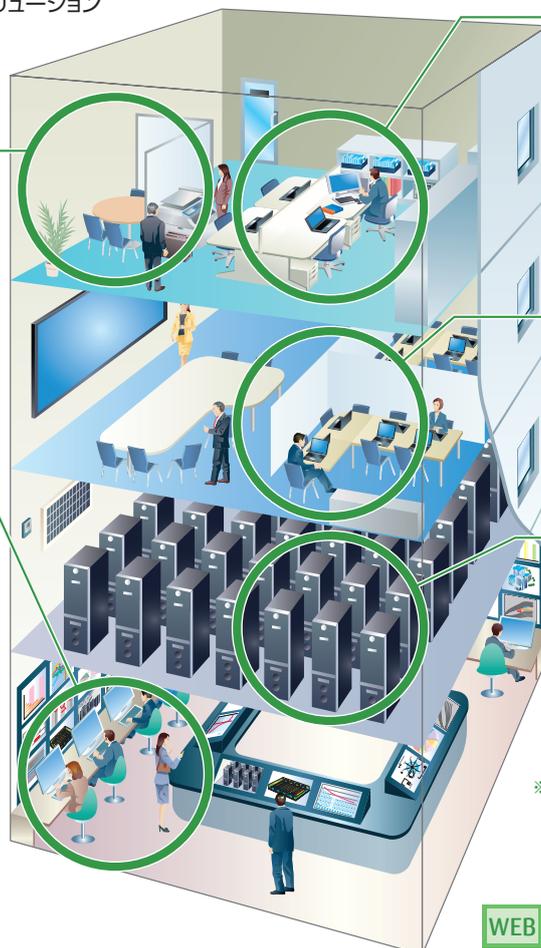
- 改正省エネ法対応
環境経営情報システム
「SLIMOFFICE」

- ### 施設管理ルーム
- #### 施設(オフィスビル、工場、データセンターなど)の電力コスト削減
- 施設管理システム
「EDRAS for Windows」
 - ビル管理システム
「Futuric/SX」シリーズ
 - 「グリーン・インフラソリューション」

省エネ支援コンサルティング

電力削減を支援する多彩なコンサルメニューにより省電力化に貢献

- サーバ室向け環境診断サービス
- 店舗向け環境診断サービス
- グリーンファンリティサービス
- 中長期計画立案支援サービス



● オフィスフロア

印刷実績管理、文書電子化、省スペース化によるコスト削減

- 認証印刷ソリューション
「EcoGate Print」
- ドキュメントファイリングソフトウェア
「楽?ライブラリ」
- 付帯設備一体型サーバーラック
「ファシリティキューブ」

● 会議室

人の移動の削減による出張コストの削減

- e-Learningソリューション
「Internet Navigware」
- Web会議サービス「JoinMeeting」

● サーバルーム

ICT機器の電力コスト削減

- パソコンの資産管理、セキュリティと省電力対策
「Systemwalker Desktop Patrol V14g」
- 節電状況管理
「SupportDesk 保守サービスプラス」

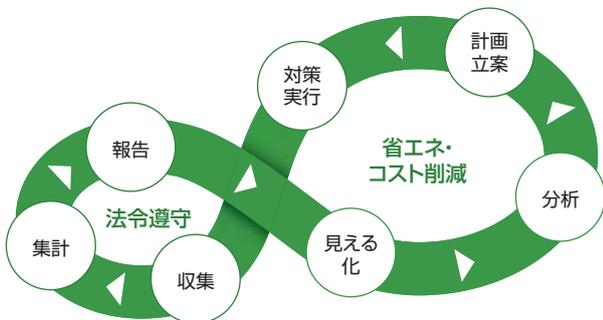
※ 富士通の省エネソリューションは、オフィス、会議室、サーバルームなどさまざまなワークプレイスに対応して、省エネルギー・環境負荷低減、コスト削減(人、物、移動など)の実現を支援します。



節電・省エネルギーソリューション
<http://jp.fujitsu.com/solutions/eco/energy>

署からエネルギー消費量のデータを収集・集計し、国への報告書を作成するだけでは、単なる「法令遵守」であり本質的な課題解決には至りません。本質は、データを“見える化”し、分析、計画立案、対策実行までを達成する「省エネ・コスト削減」の部分にあります。加えて、対策実行後も、効果を確認するためにデータを収集・集計し、さらに改善を図っていく必要があります。富士通は、こうしたインフィニティ・ループ(下図参照)の実現を支援します。

省エネとコスト削減を推進する“インフィニティ・ループ”



また、「ツール」とは、プロセスに沿って実際にPDCAサイクルを回していくために必要なものです。例えば、「収集・集計・報告・見える化」の部分には、環境経営情報システム

「SLIMOFFICE」を活用します。「分析・計画立案」は、富士通ファシリティーズ(株)のコンサルティングサービスで支援します。「対策実行」にあたっては、文書の電子化や印刷実績管理、ウェブビデオ会議など、さまざまな富士通グループのツール群を用意しています。これら、「プロセス」と「ツール」が両輪となりお客様の日常的な省エネを強力にバックアップします。

さらに、省エネを実行するうえでは、社員一人ひとりのモチベーションを高めることも大切です。富士通では、省エネ推進担当者にデータを“見える化”するだけでなく、社員にデータを“見せる化”することが重要と考えています。例えば、出社してPCの電源を入れてログインすると、昨日の消費電力が表示される仕組みを構築することで、個人間や部署間でランキングをつけたり、削減目標を達成した個人や部署を評価したりすることができるようになります。こうしたポジティブなアプローチで社員のやる気や関心を引き出していくことが、省エネを成功に導くためには有効です。富士通は、今後も「プロセス」と「ツール」、そして社員のモチベーション向上につながる提案を通じて、お客様の省エネ支援を積極的に進めていきます。

加えて、2011年6月には、東日本大震災に伴う節電対策として、富士通グループの節電ノウハウをお客様に提供する「節電アドバイスサービス」を開始しました。

導入事例 大日本スクリーン製造株式会社様

環境経営情報の一元管理を実現しデータ収集・集計にかかる作業も20%削減

半導体やディスプレイなどの製造装置や印刷機器を開発・製造している大日本スクリーン製造様では、従来、エネルギー消費量を事業所ごとに管理しており、環境安全推進部が各事業所のデータをまとめる際には、集計作業が大きな業務負担となっていました。

そこで、システム化を検討した結果、標準テンプレートと価格の優位性を評価し、富士通の環境経営情報システム「SLIMOFFICE EX(スリムオフィス イーエックス)」を採用。2009年から利用を開始しました。

SLIMOFFICE EXは、環境パフォーマンスデータ収集から環境会計までを一元的に管理・分析するための専用ソフトウェアです。富士通のノウハウを結集した標準テンプレートを実装しており、改正省エネ法の定期報告書や環境報告書用の資料も容易に作成することができます。

SLIMOFFICE EXを導入した結果、大日本スクリーン製造様では、情報の一元管理や環境活動の分析が可能になったほか、データ収集・集計に関する作業量を約20%削減し、CO₂排出量も13%

削減することができました。

また、大日本スクリーン製造様では、2010年7月、洛西事業所でエネルギーマネジメントシステム「ISO50001」の国際規格案を世界で初めて取得されました。今後は、このISO50001対応はもちろん、労働安全管理などの環境以外の活動にも、SLIMOFFICE EXを活用していく予定です。

SLIMOFFICE EXの概要

